

フィンランドの反原発団体の代表が来日

2013年1月22日-30日

ハンナ・ハルメンペー (Mrs. Hanna Halmeenpää) さん、フィンランドの市民団体プロ・ハンヒキヴィ (Pro Hanhikivi) の副会長が2013年1月22日-30日、フィンランドとスウェーデンの協力団体の関係者と一緒に来日します。プログラムのコーディネーターは、持続可能なスウェーデン協会 (Sustainable Sweden Association) 日本代表のレーナ・リンダール (Ms. Lena Lindahl) が担当します。

市民団体プロ・ハンヒキヴィは、バルト海の海岸で予定されている新しい原発の建設プロジェクトに反対しています。新規原発は、フィンランドのフェンノボイマ (Fennovoima) 社によって計画され、その予定地はピュハヨキ (Pyhäjoki.) ということです。ハンナさんは、中学校の生物学と地理学の教員です。家族と一緒に予定地から50km のところに住んでいます。日本企業の東芝が原子炉の供給をする可能性があることから、ハンナさんは日本を訪問することを決めました。

ハンナさんの来日目的は、日本の原発技術の輸出に関する市民の意識を高めながら、福島原発事故以来、他国で原発を推進する日本政府の姿勢に疑問をもつ市民の中から協力者やサポーターを募ることです。原発輸出の議論を深めることが大事だとハンナさんが考えています。フィンランドでの対立があるからだけではなく、ほかの国にとっても大きな意味のある議論でしょう。

ハンナさんは日本の政治家やメディア関係者に会ったり、市民向けに講演したり、反原発団体の代表者やメンバーに会ったりする予定です。福島県の訪問も予定しています。

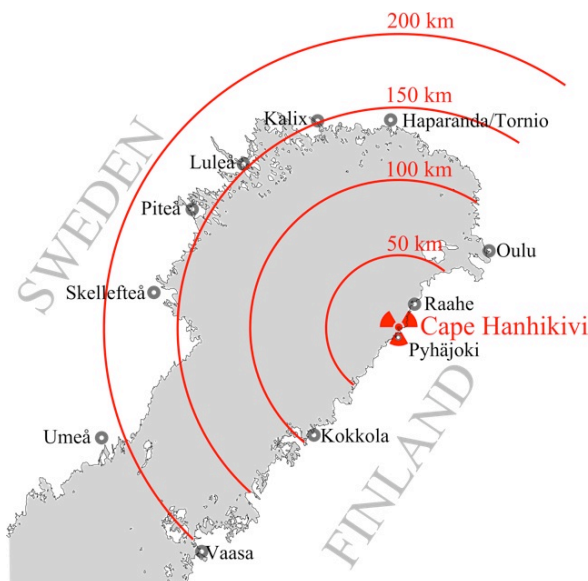
講演をする機会の提案を歓迎します。来日プログラムを成功させるための活動パートナーも探しています。

プログラムコーディネーターと連絡先: レーナ・リンダール (Lena Lindahl) vzq11450@nifty.ne.jp

(日本語と英語での連絡を歓迎します。)

プログラムに関連した公開の情報や資料は決まり次第、このページにアップします。

<http://sustainableSweden.jp/ssa.html>



Mrs. Hanna Halmeenpää,
Vice-President of Finnish NGO Pro Hanhikivi